

さんすう しょう くみ ばん なまえ  
〔算数〕 小1 組 番 名前

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 8 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1) 1  (2) 2  3

1ずつ へって います。 2ずつ ふえて います。

2 4

3 (1) 5

(2) 6

4 7

5 8

〔算数〕 小2 組 番号前

★先生方へ～解答欄の ① ～ ⑨ は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

① (1) ①  ②

(2) ③  分間

とけいのみじかいはりが、4と5のあいだ、ながいはりが4にあるので、③のとけいは、4時20分です。

② ④

③ (1) ⑤  (2) ⑥

④ ア ⑦  L イ ⑧  mL

1 L = 1000 mL

⑤ ⑨

□の中に、0から9までの数をあてはめてかんがえます。

- ・□の中に0 ⇒ 503 (562より小さい)
- ・□の中に1 ⇒ 513 (562より小さい)
- ・□の中に2 ⇒ 523 (562より小さい)
- ・□の中に3 ⇒ 533 (562より小さい)
- ・□の中に4 ⇒ 543 (562より小さい)
- ・□の中に5 ⇒ 553 (562より小さい)
- ・□の中に6 ⇒ 563 (562より大きい)
- ・□の中に7 ⇒ 573 (562より大きい)
- ・□の中に8 ⇒ 583 (562より大きい)
- ・□の中に9 ⇒ 593 (562より大きい)

〔算数〕小3 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1) ① 三百十四万五千六百八十六

1 3 1 4 5 6 8 6

② 1000万を5こと、100万を8こと、1万を9こ合わせた数

2 5 8 0 9 0 0 0 0

(2) ① 3 9 0 0 0 0 と 2 0 0 0 を 合 わ せ た 数

90000 + 2000 = 92000

② 1000を 4 9 2 こ 集 め た 数

2

$$\begin{array}{r} 58 \\ \times 9 \\ \hline 72 \dots \dots \dots \\ 450 \dots \dots \dots \\ \hline 522 \end{array}$$

5 8 × 9

6 50 × 9

58は、50と8に分けて、  
50×9と8×9の計算をしま  
す。

3 (1) 7 イ

(2) 8 ア

↓ が8mより左がわにあるので、7m00cmになります。

4 9 5 cm

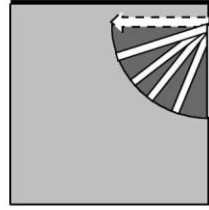
2つの小さい円の中心を通して、大きい  
円のまわりまで書いた直線は、大きい円の  
直径となります。

5

10

ウ

ドアの動きは、ドアのはばを半径（はんけい）とした、円の一部となります。



6

(1)

11

動物園（どうぶつえん）

12

イ、ウ

道のりの合計を比べる方法のほかに、道のりが同じ部分はない。水ぞく館（かん）から北タワーまでの道のりと動物園（どうぶつえん）から北タワーまでの道のりを比べる方法があります。

(2)

午後2時

13

50

分

〔算数〕小4 組 番氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1)

1 イ

たし算やひき算と、かけ算やわり算がまじった式ではかけ算やわり算を先に計算します。

2 310

30×8を先に計算します。  
そのあとに、70と30×8の積をたして、答えを求めます。

(2)

3 イ

チョコレートとガムをひとまとまりにするので、70+30に( )を使います。

2 (1)

4 イ、ウ

(2)

5 ウ

向かい合った2組の辺が平行な四角形を、平行四辺形といいます。

(3)

6 ア、イ

平行四辺形の、向かい合う辺の長さは等しくなっています。また、向かい合う角の大きさも等しくなっています。

3 (1)

7 ① ウ

千の位までのがい数で表すには、千の1つ下の位である百の位の数字を四捨五入（ししゃごにゆう）します。

8 ② 9000

(2)

9 ③ エ

(3)

10 エ

「実さいの数よりも小さいがい数にして見積もっていること」、「集めたこ数の合計は7000こ以上であること」、「12月に集めるこ数は、3000こ以下であること」の説明（せつめい）が必要です。

〔算数〕小5 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の ①～⑨ は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

問題場面を図や数直線などに表すことは、問題を解決する上で大切です。図や数直線などに表すことで、数量の対応や大きさを捉えることができます。

①

(1)

① 60の場所  
ア

② 0.4の場所  
エ

③ □の場所  
イ

(2)

④ ②

「わり算で、わる数とわられる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算に関して成り立つ性質を生かして、計算の仕方を考えるようにします。この時、計算の仕方だけでなく、「 $600 \div 4$ は『4mの針金の重さが600gの時の1mの重さ』を求めている式だ」のように式の意味を考えることが大切です。

②

(1)

⑤ ④

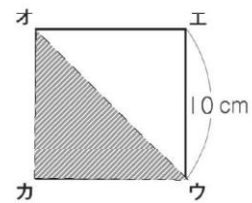
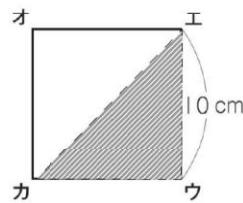
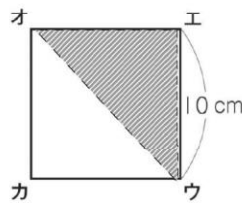
オウで折ったときは、エオとカオの長さが等しいこと、エウとカウの長さが等しいこと、角エと角カが直角であることを確かめています。

(2)

⑥ ③

エカで折ったときは、カウとカオの長さが等しいこと、エウとエオの長さが等しいこと、角ウと角オが直角であることを確かめています。

「2つの辺の長さとその間の角の大きさが等しい」という合同な三角形の特性から見付けます。



③

(1)

⑦ 42

14の倍数と21の倍数のうち、共通するもっとも小さい数が最小公倍数なので、14と21の最小公倍数は、必ず14と21以上の数になります。

(2)

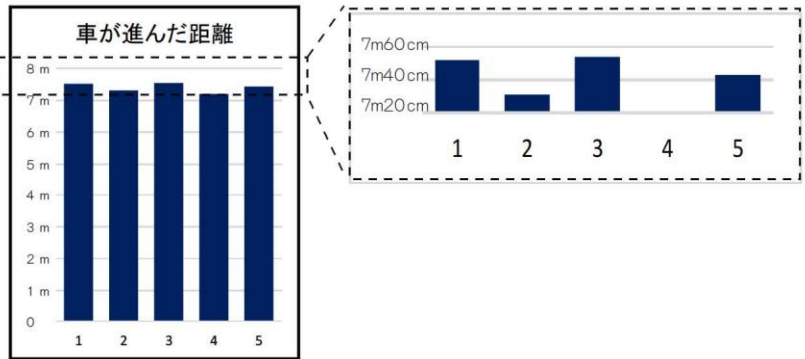
⑧ ウ

この説明では、  
・カップケーキが7個ずつ2列あること  
・1050円を2等分すること  
の両方を説明しなければなりません。

④

⑨ エ

5回の記録のうち、最も少ない4回目の7m20cmをきじゆんとすると、平均を求めるときの式の中の数を小さくすることができます。



〔算数〕小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1) 1  (2) 2

わり算のままでは、約分をすることができません。

2 (1) 3  mL

(2) 4  全体（ミルクティー）の比が8で、牛乳の比が3であることを使って牛乳の量を計算します。

3 (1) 5

(2) 6  倍

(3) 7  四角形の4つの角の和は必ず360°になるので、合同な円ができます。

4 (1) 8  三角形の面が二つあるので、三角形の面を底面とした三角柱とみることができます。

(2) 9   $\text{cm}^3$

5 10  飲み物の量に対する果汁の量の割合は、飲み物の濃さを表しています。飲み物を分けても、飲み物の濃さは変わりません。